

三重県情報館(仮称)コンテンツ選定委員一覧

(五十音順)

氏名	所属・役職	略歴
いこま 生駒 芳子	FUTURADITION WAO (フュートゥラディションワオ) プロデューサー	ファッションジャーナリスト／アートプロデューサー。『VOGUE』『ELLE』での副編集長を経て、2004年より『マリ・クレール日本版』編集長に就任。2008年11月独立後は、ファッション、アート、ライフスタイルをテーマの核として、社会貢献、エシカル、社会起業、女性の生き方についてのプロジェクトを立ち上げ、雑誌や新聞への執筆にかかわる。クール・ジャパン官民連携プラットフォーム構成員、産業構造審議会委員、公益財団法人三宅一生デザイン文化財団理事、NPO「サービスグラント」理事などを歴任
おおかわ 大川 よしたか 吉崇	学校法人大川学園理事長	三重県津市出身。三重高等学校教諭から大川学園に移籍、現在、学校法人大川学園理事長。 大正から昭和初期の食生活について聞き取り調査をまとめた著書「三重県の食生活と食文化」や大台ヶ原山に息づく日本の文化の原風景を明らかにした著書「大台ヶ原山 知られざる謎」を執筆するなど三重の食文化や自然に豊富な知見を有する。全国調理師養成施設協会参与、三重県私立幼稚園協会常任相談役。三重ブランド認定委員、三重のバイオトレジャー選定委員を歴任。
さか 坂 みゆき 美幸	月兎舎 季刊「NAGI」編集長	三重県伊勢市出身。伊勢市内の老舗和菓子店に勤務後、地元情報誌を発行する「伊勢文化舎」に入社し8年間編集員として活躍。現在、月兎舎季刊「NAGI」の編集長、三重県内の住まい、町並み、里山等について「モノ」でなく「ヒト」に焦点を合わせた特集を多数企画している。また、伝統産業・地場産業新たな魅力創出事業費補助金予備審査会委員（三重県）、みえセレクション採点者、三重県主催のシンポジウムでパネリストとして活躍。
たなか 田中 りさ 里沙	株式会社宣伝会議 取締役副社長兼編集室長	三重県津市出身。広告会社を経て1993年に宣伝会議入社。1995年から広告専門誌「宣伝会議」の編集長を務め、2007年から編集室長。企業の広報宣伝戦略やマーケティングトレンド分析を手がけ、行政や企業の広報宣伝のあり方をアドバイスしている。伊勢志摩サミットロゴマーク選定委員、東京2020大会エンブレム選定委員、三重県経営戦略会議委員、国土交通省社会資本整備審議会委員、中央環境審議会委員、日本郵便社外取締役などを歴任。

にしむら 西村 のりひろ 訓弘	三重大学副学長	三重県南伊勢町（旧南島町）出身。民間研究所、米国企業、大手外資系製薬企業の研究員などを経て、遺伝子解析技術の研究・開発に携わり、大学発バイオベンチャー企業の立ち上げに寄与。同ベンチャー企業の代表取締役社長を経た後、三重大学医学部特命教授、同大学大学院医学系研究科教授、2013年から現職。 三重県経営戦略会議委員、みえ産業振興戦略アドバイザーボード委員を歴任。
まるかわ 丸川 たつや 竜也	株式会社イストグラフ代表	三重県松阪市出身。独学でデザインを学び、2000年にデザイン事務所（株式会社イストグラフ）を設立。2008年にオリジナルブランド「丸川商店」を立ち上げ、主に、松阪市の伝統工芸品「松阪木綿」及び玉城町の伝統工芸「擬革紙」などの再興事業に注力し、現在、国内60社・海外4社にて販売中（平成2015年1月現在）。以降、三重県の様々な文化や食のデザインに取り組んでいる。 三重県産業功労者表彰の審査委員を歴任。